

そう だい
総 題 「創世記」

だい か
第12課 エジプトの王子、ヨセフ

よしむら しのが
吉村 忍

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

ヨセフ物語は、これまで多くの人々の心に強い印象を残してきた物語です。エジプトに奴隷として売られたヨセフが、驚くべきことに総理大臣に任命される話や兄弟と再会する話など、ヨセフ物語には感動的な場面が多くあります。しかし、ヨセフ物語の全体に流れているのは、神様の介入です。私たちはヨセフ物語を通して、神様がヨセフをはじめ、ヨセフを取り巻く人々にどのように介入され、その人々が神様からの働きかけに対してどのような応答をしたかを見ることができます。神様は、すべての時と方法に従って物事をこなされる方です。

に にちようび けんりよくしや のぼ つ
2. 日曜日：権力者に上り詰めるヨセフ

ファラオがヨセフに、「・・・聞くところによれば、お前は夢の話を聞いて、解き明かすことができるそうだが」（創世記 4 1 : 1 5）。と尋ねた時、ヨセフは「わたしではありません。神がファラオの幸いについて告げられるのです」（創世記 4 1 : 1 6）。と答えました。

ホワイト夫人は『人類のあけぼの』上巻、2 4 2ページに、このヨセフの返答について次のように書いておられます。「ヨセフのパロへの答えの中に、彼の謙遜と、神への信仰があらわされている。彼は、慎重深く、優れた知恵が自分にあるなどとは言わなかった。「いえ、私ではありません。」

ファラオはヨセフの内に神の霊が宿っていることを認めて、次のように言いました。「神がそういうことをみな示されたからには、お前ほど聡明で知恵のある者は、ほかにはいないであろう」（創世記 4 1 : 3 9）。危機に直面していたエジプトの総理大臣にふさわしい人物は、ヨセフ以外にはいませんでした。総理大臣に任命されたヨセフは、決して高ぶった思いを抱くことはなく、これまでと変わることなく神様を信頼し、自分に与えられた義務を忠実に果たしました。

私たちは、立場や状況に全く影響されなかったヨセフの品性から教訓を学ぶことができます。

さん げつようび あに たいめん
3. 月曜日：ヨセフ、兄たちと対面する

ヨセフがファラオの見た夢の解き明かしで予告した通り、7年の飢饉が起きました。

しかし、エジプトは7年の豊作の時に食糧を蓄えていましたので困ることはありませんでした。

飢饉はヨセフの家族が住んでいたカナン^{ちほう おそ}の地方も襲^{おそ}いました。ヨセフの父ヤコブ^{ちち}は、エジプト^{こくもつ}に穀物があることを聞き、息子^{むすこ}たちをエジプトに穀物^{こくもつ}を買い^かに行かせます。

「ヨセフの兄^{あに}たちは来て、地面^きにひれ伏^{じめん}し、ヨセフを拝^ふした」(創世記 4 2:6)。この言葉^{ことば}は、かつてヨセフが見た夢^{ゆめ}がその通りになったことをあらわしています。創世記 3 7:7でヨセフは次のように言いました。「…兄^{にい}さんたちの束^{たば}が周^{まわ}りに集^{あつ}まって来て、わたしの束^きにひれ伏^{たば}しました。」神様^{かみさま}は、すべての時^{とき}を支配^{しはい}しておられるお方^{かた}です。神様^{かみさま}は、ヨセフとお兄^{にい}さん達の再会^{さいかい}の時^{とき}を備^{そな}えておられ、そこに向^むかってひとつひとつの出来事^{できごと}を導^{みちび}いておられました。

4. 火曜日：ヨセフとベニヤミン

ヨセフは、穀物^{こくもつ}を買い^かに来たお兄^{にい}さん達^{たち}の中にベニヤミン^{なかに}がい^きないことに気づ^ききました。ヨセフはベニヤミンの身^みに何^{なに}か起^おこったのではないかと考^{かんが}えました。ヨセフにとってベニヤミンは特別^{とくべつ}な存在^{そんざい}でした。それは、ヨセフとベニヤミンの母^{はは}親^{おや}(ラケル)が同^{おな}じだったからです。

ヨセフは、お兄^{にい}さん達^{たち}がもう一度^{いちど}穀物^{こくもつ}を買い^かに来た時^{とき}、自分^{じぶん}の愛^{あい}する弟^{おとうと}ベニヤミン^{すがた}の姿^みを見て、どんなに嬉^{うれ}しかったことかと思^{おも}います。ヨセフがお兄^{にい}さん達^{たち}には「この人^{ひと}たち」(創世記 4 3:16)と呼^よんだの^{たい}に對^{たい}して、ベニヤミンには「弟^{おとうと}」「わたしの子^こよ。」(創世記 4 3:29)と言^いいました。

ヨセフは兄^{きょうだい}弟^{しよく}を食^じ事に招^{まね}いた場^ば面^{めん}で、ベニヤミンの食^{しよく}事^じの量^{りよう}をお兄^{にい}さん達^{たち}より5倍^{ごばい}も多^{おほ}くしてお兄^{にい}さん達^{たち}の様子^{ようす}を伺^{うかが}いましたが、お兄^{にい}さん達^{たち}はベニヤミンに對^{たい}して悪^{わる}い感^{かん}情^{じやう}を抱^だくことはありませんでした。このことによ^よって、ヨセフはお兄^{にい}さん達^{たち}が変^かえられていることを知^しりました。神様^{かみさま}が、お兄^{にい}さん達^{たち}の品性^{ひんせい}を変^かえてくださいました。

5. 水曜日：占いの杯

ヨセフは、執事^{しつじ}にベニヤミンの袋^{ふくろ}に占いの杯^{さかずき}を入^いれるように命^{めい}令^{れい}しました。ホワイ^{ふじん}ト夫人^{じんるい}は、『人類^{じんるい}のあけぼの』上^{じやうかん}巻^{まき}、2 5 4ページに次のように書^かいておられます。「彼^{かれ}は、さら^{きやうだいたち}に兄^{ため}弟^{おも}達^{かれ}を試^しそうと思^{おも}い、彼^{かれ}らが出^{しゅつぱつ}発^まする前^{まえ}にヨセフ自身^{じしん}の銀^{ぎん}の杯^{さかずき}を末^{すえ}の弟^{おとうと}の袋^{ふくろ}の中^{なか}に隠^{かく}すように命^{めい}じた。」

兄^{きやうだいたち}弟^{しゅつぱつ}達^{あと}がエジプトを出^{しゅつぱつ}発^{あと}した後^{しつじ}、執事^{きやうだいたち}が兄^{あと}弟^お達^{ひとり}の後^{ふくろ}を追^{しら}い、一人^{とき}ずつ袋^{ふくろ}を調^{しら}べた時^{とき}、ベニヤミンの袋^{ふくろ}からヨセフの杯^{さかずき}がみ^みつかりました。次^{つぎ}の文^{ぶん}章^{しやう}から、ヨセフの兄^{きやうだいたち}弟^{おも}達^しへの思^しいを知^しることができま^しす。「ヨセフは、兄^{きやうだいたち}弟^{つみ}達^{じかく}から罪^{ことば}を自^き覚^{おも}する言^{じんるい}葉^{じやうかん}を聞^{にひやく}きたいと思^{ごじやうろく}っていた。」(『人類^{じんるい}のあけぼの』上^{じやうかん}巻^{まき}、2 5 6ページ)

ヨセフの「・・・ただ、杯^{さかずき}を見^みつけられた者^{もの}だけが、わたし^{どれい}の奴^{まへ}隷^{みな}にな^{あんしん}ればよい。ほかのお前^{おまへ}たちは皆^{みな}、安心^{あんしん}して父^{ちち}親^{おや}のもとへ帰^{かえ}るがよい。」(創世記 4 4:17)との言^{ことば}葉^{たい}に對^{たい}して、ユダが次^{つぎ}のよう^{こた}に答^{こた}えました。「何^{なに}とぞ、この子^この代^{かわ}わり^{しもべ}に、この僕^{ごしゆくん}を御^{どれい}主^{のこ}君^この奴^{きやうだい}隷^{いっしょ}としてこ^{いっしょ}に残^{かえ}し、この子^こはほかの兄^{きやうだい}弟^{いっしょ}たちと一^{いっしょ}緒^{かえ}に帰^{かえ}らせてください。」(創世記 4 4:33)

ユダは、自分^{じぶん}が身^み代^がわりとなることを申^{もう}し出^でました。ユダの心^{こころ}に宿^{やど}った自己^{じこ}犠^ぎ牲^{せい}の愛^{あい}の源^{みなもと}は、人^{じん}類^{るい}を救^{すく}うた^めに自^みら^いの命^{いのち}をさ^すさげてくださ^{すがた}ったイエス・キリストのお姿^{すがた}にあります。

ろく もくようび

6. 木曜日：「わたしはヨセフです。」

これまで、何度となくお兄さん達を試してきたヨセフは、お兄さん達が以前の乱暴で残酷なお兄さん達ではないことがはっきりとわかりました。お兄さん達の品性がイエス・キリストの品性に変えられていることを知ったヨセフは、「わたしはヨセフです。」(創世記 4 5：3) と自分の身を明かします。

この後のヨセフの言葉は、奴隷として売られた境遇を考えるならば、決して言えない言葉です。「わたしはあなたたちがエジプトへ売った弟のヨセフです。しかし、今は、わたしをここへ売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません。命を救うために、神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのです・・・神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのは、この国にあなたたちの残りの者を与え、あなたたちを生き永らえさせて、大いなる救いに至らせるためです。わたしをここへ遣わしたのは、あなたたちではなく、神です。」

(創世記 4 5：4～5、7～8) ヨセフの言葉は、神様を信じる信仰から出た言葉です。

私たちがヨセフ物語を通して神様の救いのご計画と神様がなさった御業を学ぶ時、神様の素晴らしさをほめたたえずこほられません。

ヨセフ物語は、神様を信じ、神様の御言葉に従って歩む人に、ヨセフとヨセフの家族にしてくださったことをしてくださるという希望を告げています。

なな きんようび

7. 金曜日：さらなる研究

ホワイト夫人は、『人類のあけぼの』上巻、2 7 1 ページに「ヨセフの生涯はキリストの生涯を代表している。」と書いておられます。

ヨセフとキリストのどの点が共通しているのかを学んでみてください。